

会 議 録

会議の名称		第3回（仮称）香取台地区小学校開校準備委員会		
開催日時		令和4年2月4日（金） 開会 18：30 閉会 20：50		
開催場所		つくば市役所 4階 ミーティング室		
事務局（担当課）		教育局 学務課		
出席者	委員	堀越直子、堀田誉、中川元、眞家登志子、長岡かほり、鈴木由紀子、岩田隆敬、小濱いずみ、林将広、石井勇輔、檜由美子、鈴木裕絵、田上和久		
	その他			
	事務局	教育施設課課長補佐（兼）係長三井永達 教育施設課主事小池祐輝 学び推進課主任指導主事兼係長岡野晃生 学務課課長下田裕久、学務課課長補佐東泉学、 学務課係長中山美希、学務課主任工藤麻貴、		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 校名案の選定方法の検討及び決定 (2) 校章案の選定方法の検討及び決定		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1	開 会		
	2	議 事 (1) 校名案の選定方法の検討及び決定 (2) 校章案の選定方法の検討及び決定		
	3	そ の 他		
	4	閉 会		

<審議内容>

1 開会

2 議事

委員長：皆さんこんばんは。それでは会議の進行をさせていただきます。事務局へ確認がありますが、本日は傍聴の方はいらっしゃいますか。

事務局：傍聴者はおりません。

委員長：はい、ありがとうございます。傍聴者がいらっしゃらないようですので、議事に入りたいと思います。本日の議事は、校名案の公募結果について、校名案のアンケート及び校章案の公募について、校章案のデザイン化について、以上の3点になります。それでは議事に入ります。まず、配付している資料について、事務局よりそれぞれ説明をいただきたいと思います。お願いいたします。

事務局：皆さん、こんばんは。学務課の中山と申します。よろしく申し上げます。それでは本日の資料の確認をさせていただきます。今日の資料は、1番から4番になっております。まず、校名案の公募結果についてからご説明いたします。1月27日から始まりました公募で、資料2の通り294件の校名案をこちらに頂戴しました。たくさんいただきました。本当にありがとうございます。こちらの結果につきましては、お手元の資料の通り、上から順番に、票数の多い順に記載をしております。こちらに基づいて、今後校名案アンケートを行いたいと考えておりますので、この後、校名案の絞り込みですとか、対象者について、また検討をお願いしたいと思います。校名案の公募結果について、何か皆さんの中からご質問等ありましたら頂戴できればと思うんですがいかがでしょうか。はい、すみません、それではご質問ないようですので、次に進めたいと思います。よろしいでしょうか。それでは、議事の2の校名案アンケートと校章案の公募についての方

なんですが、まず、校名案のアンケートについてご説明させていただきたいと思います。公募と同じく、アンケートについても、対象者、期間、方法、校名案の候補の絞り込みをお願いしたいと考えておりますが、事務局としましては、対象者は、校名案公募と同様の範囲を想定しております。ですので、島名小学校在籍の児童の皆さん、またその保護者の方々、4月に入学される児童の皆さんとその保護者の方々を想定しております。なお、こちらにつきましては、改めて委員の皆様で範囲についてご協議いただきたいと思います。なお、期間についてですが、校章のデザインと一緒にを行う都合上、大変申し訳ないんですが、2月10日から2月15日の実施を想定したいと思っておりますので、延長もしくは短縮については、ちょっと難しいかなと考えております。よろしくお願ひします。あと、アンケートの方法なんですけれども、現在、まん延防止等重点措置の期間で臨時休校期間中であることを鑑みまして、事務局の方では、児童の皆さん、また児童のそのご家庭の皆さんには、応募用紙による方法、こちらを想定しております。こちらに関しては、資料の3番ですね。資料の3番において、児童の皆さんには手書きで書いていただいたものを、切手を貼った返信用封筒を同封いたしますので、事務局の方に送り返していただくように考えております。保護者の方々については、電子申請もしくは応募方法による返送も想定しております。なお、事前にご質問いただきました、切手を添付した形ではなく、料金後納郵便で対応できないかということなんですけれども、大変申し訳ないんですが、後納の手続きについて、郵便局で3週間程度時間が必要ということですので、今回の校名案アンケートと校章案のデザインについては、対応が難しいと考えております。最後に、校名案の候補の絞り込みについてですが、アンケートを行うにあたり、先ほどご説明しました資料2の校名案公募の結果の中から、アンケートに記載する案を、何点か委員の皆様で絞り込みを行っていただければと思います。参考まで

に申し上げますと、学園の森義務教育学校開校時には 10 点程度に絞り込み、みどりの学園については 2 点程度。なお、現在同時に開催しております、(仮称) 研究学園小学校中学校の開校準備委員会が、先日行われたんですが、そちらは 10 点程度に絞り込みを行っております。以上こちらからのご説明になります。

委員長：ありがとうございました。それでは、まず、校名案アンケート及び校章案の公募対象についてなんですけれども、校名案の公募と同じ対象と考えていければと思いますが、変えた方がいいんじゃないかと思う方、挙手いただいでご発言いただけますでしょうか。それでは、公募対象者につきましては、校名案同様、島名小学校の児童、保護者、新入生っていう対象でよろしいでしょうか。ありがとうございます。アクションマーク、非常に助かります。ありがとうございます。はい。では続いてなんですけれども対象期間については、先ほど事務局からもありましたように、2月10日から15日ということで、こちらはもうほぼ決定ということでお願いできればということでした。こちらに対して何かご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

委員：質問してよろしいですか。

委員長：はい、お願いいたします。

委員：ちょっとよくわからなかったんですけど、10日から15日で、郵送の場合って、郵送に2、3日かかることを考えると、生徒たちに提示するのが10日で、15日だと実質的には1日か2日しか間がないように思うんですが、そこはスケジュール的にはどういうふうに考えられたんですか。15日までに手続きを終える、ということですかね。つまり消印が15日であればいいということなのか。

事務局：こちらで想定しているのは、15日の消印有効と考えています。15日にポストに入れていただければ、16日ないし遅くとも17日までには届くと

考えていますので、3連休を活用していただいて、ご家族でじっくり考えていただければと思っております。以上です。

委員：了解しました。実質、この期間が、検討に確保できるということで、了解しました。ありがとうございます。

委員長：事務局ありがとうございました。すいません、よろしいでしょうか。事務局に質問がございます。先ほどの件についてなんですけれども、15日の消印有効ということは、こちらは、書いてありますか。消印有効という何かこう表示というのは文書の中に、何か記載とか入れていただく形なのでしょうか。お願いいたします。

事務局：はい。今のところの通知の案が資料の3になるんですけれども、こちらの(2)の①※になるんですが、郵送に係る手続きは2月15日火曜までにお済ませいただきますようお願い申し上げますとあるんですけれども、こちらをもう少し、消印有効ですとか、ポストに投函してくださいといった、わかりやすい文章に改めたいと思います。

委員長：ありがとうございます。できればそのような形で。

委員：委員長一旦消えちゃいましたね。再度入室してくれると思うので、待ってましょうか。

副委員長：今、委員長から連絡があって、頑張ってるそうなんですけど、このまま進めてくださいということで、ご連絡いただいています。よろしいですか。

事務局：はい、わかりました。

副委員長：後納案について反対される方いらっしゃいますでしょうか。

委員：ごめんなさい、後納案ってなんでしたっけ。

副委員長：切手を貼らないで、郵便局の。

事務局：すみません。方法に関しては、返信用封筒に切手を貼る方法でないと、この2月10日から開始が間に合いませんので、申し訳ありませんが、事務局としましては、郵便でお子さん方含めてご家庭にお知らせをしまして、

回収方法としては、まん延防止等重点措置期間を考えますと、郵便で事務局に送り返していただくのが一番かなと考えております。あと、あわせて保護者の方は、電子申請でもご申請いただけるように、その電子申請のサイトを作りまして対応したいと考えております。

副委員長：ありがとうございます。

委員：1点質問いいですか。2月10日からということなんですけれども、ちなみに児童の手元に届くのは、いつになる予定でしょうか。

事務局：事務局です。早ければ9日あたりには、届くかなと。今日決まりますので、今日か月曜日には準備して、月曜日に発送はしたいと思いますが、遅い場合には、8日に発送して9日には着くような形にしたいと思います。

委員：はい。ありがとうございます。

副委員長：皆さま、事務局案について、いかがでしょうか。

委員：1点質問していいでしょうか。はい。子どもの電子申請はなしという案でこれは決定ということですか。委員で話し合いをさせていただいた際に、子どもが電子申請で、申請できるかどうかについて少し話が出たと思うんですが、今回、その案が出ておらず、保護者のみが電子申請という形になっていますが、それはもう確定なんでしょうか。

事務局：事務局です。こちら、あくまでも案ですので、委員の皆様から、お子さんも電子申請用のサイトを作るようにということであればもちろんそれは対応できます。

委員：ありがとうございます。

委員：すいません、質問いいですか。親も、紙で応募OKということで、郵送で届くのは、一つの封筒に親の分と、あと子どもの分、2つ届くという考えでよろしいのでしょうか。

事務局：はい、事務局です。おっしゃる通り、一つの封筒にお子様向けの応募用紙、保護者の方向けの応募用紙両方入れてお送りします。

委員：ありがとうございます。

事務局：事務局です、すみません。委員長、よろしくお願ひします。

委員長：大変申し訳ございませんでした。皆さん、申し訳ございません。今、郵送ですか。副委員長、郵送のところですか。

副委員長：郵送のところは、もう決定になります。今は、まず、郵送に対して親と子どもを両方宛で出すのか、一通に、お子様分とご家族分同封されて、送付されるかどうかということによろしいですか。あともう1点は、手続きに関してお子様の分を、郵送なのか電子申請になるのかっていうのを協議になります。

委員長：協議中ですね。はい。ありがとうございます。申し訳ございませんでした。他にいらっしゃいますか。

委員：堀いいですか。ちょっと今の話、一回整理したいんですけど、今のお話って、まず事務局から出されている案は、児童は郵送のみ。で、保護者は、電子と郵送両方できますよっていうのが今の案ですよ。で、それでいいのかどうかっていう議論をしてるってことですよ。私の認識合ってますでしょうか、事務局の方。

事務局：はい。事務局です。おっしゃる通りです。こちらの案としては、お子様は郵送でのやりとり、親御さんは郵送でのやりとりもしくは電子申請という形でご案内しておりますが、お子様についても、もちろん電子申請できるように準備できますので、そちらはご協議いただければと思います。

委員：はい。ありがとうございます。それに重ねてなんですけれども、児童を郵送のみにしたのには多分何らかの意図があってこの案を出して下さってると思うんです。もしなんかちょっとね、事務局側として、手書きで書いてもらったほうが意義があるとか、或いは何ですかね、事務負担の効率化を考えた上で、郵送に絞ったほうがやりやすいとか、何らかもし意図があるのであれば、教えていただけると助かります。

委員長：事務局お願いいたします。

事務局：事務局です。すみません。お子さんについて、今回、当初の案は電子申請が入っていないことなんですけれども、基本的には、小さいお子さん、小学校1年生から6年生の皆さんまで、手書きで書かれると思うんですけれども、そちらを電子申請していただくとなりますと、ご家庭で写真に撮っていただいてファイルをアップロードしていただくという、一手間がかかるような形になります。保護者の方も、もちろんやっていただけていると思いますが、ご家庭によってはなかなか対応が難しいところもあるかなということで、子どもさんについては手書きのものをそのまま送っていただけるように、こちらでは準備したいと考えております。

委員：はい、ありがとうございます。

委員長：大丈夫でしょうか。

委員：はい。じゃあここまで、大丈夫でして、ここからちょっと私の意見になるんですけれども、児童がね、郵送一本なのはそれでいいかなと思っていて、保護者が2つの案があるのがいいのかどうかというところなんですけれども、私の認識が違ってたら教えてください。保護者がもし電子申請でも応募用紙でもってだった場合に、保護者が電子申請の手段をとると、保護者用の返信用封筒は別にあるわけではなくて、あくまでも児童の返信用封筒に、一つ入れて返すってことでよろしいでしょうか。

事務局：はい。その通りです。

委員：わかりました。はい、ありがとうございます。ていうことはそれほどですね、事務局側で電子と応募用紙、両方でこうね、二重で応募されて、何かこう、整理が混乱するとか、事務負担が増えるっていうところ、あんまりなさそうですかね。

委員長：事務局お願いいたします。

事務局：はい。事務局としては、どちらかの方が、短期間でちょっと集計します

ので、片方の方がありがたいなと思います。

委員：はい。ありがとうございます。私個人的には、あの、保護者は電子申請だけでもいいのかなと思ってもいます。はい。やっぱり、ダブルで応募していた時に、事務局でそれをね、ダブルのものをはじく作業っていうのは結構大変なんじゃないかなというふうに思っているのと、保護者の方であれば、ある程度スマートフォンとかは使い慣れてらっしゃるので、電子申請一本だけでも、子どもは郵送のみ、保護者は電子のみでも、特に支障はないのかなというのが私の意見です。はい。以上です。

委員：よろしいですか。

委員長：はい。お願いいたします。

委員：児童は児童で、保護者は保護者で、それぞれどっちかの方法に一本化した方がいいっていうのは賛成なんですけど、今回校章とかあるので、電子申請することのメリットが一体どのぐらいあるのかなというのは思っていて、なんかそんなに電子にこだわる必要ないんじゃないかなと、結局、事務局として見れば、何か特に校章なんて、電子でもらったところで、児童の方が紙で来るのであれば、最終的には結局プリントしたりとかいろんな手間が増えるので、だったら生徒全員に切手付きの封筒が配られるのであれば、そこに児童だけでも、或いは児童と保護者両方でも、或いは保護者だけで出しても結果的には同じなんで、別に手間的には別に、なんかだったら、そんなに保護者電子にこだわる必要はないのかなと思います。以上です。

委員長：ありがとうございました。あれですね、ちょっとすいません。他に何かありますか。この点に関して、他の方ございませんか。ちょっとすいません。児童に関しての提出というのが郵送一本化でいうところで終わったと思うんですね。はい。保護者について、今協議だと思うんですけども、ここでちょっと、決めていきたいのが、一本化にするか、しないかってい

うところで、皆さんに聞いていった方がいいのかなと思います。するかしないかで、やっぱり多いほうになっていくんでしょうかね。決まったことに関してまた何か考えとか意見とかいただけたらという進め方をしていきたいんですけども、いかがですか。よろしいでしょうか。多分、今の集計とかいろいろ考えてのことで、一本化でどうですかという。

委員：副委員長、対応をお願い致します。

副委員長：はい。お待たせしました。

委員長：私がちょっとおかしいです。ごめんなさい。皆さん、私の声聞こえていますか。ありがとうございます。私は動いていますか。ありがとうございます、失礼いたしました。なんか私の調子はいいんですけど、パソコンなんかよくなくなっちゃったみたいで、すいません。一本化でいきたいと思います方は挙手をお願いいたします。

副委員長：どっちに一本化ですか。

委員長：郵送一本化です。すいません。ありがとうございます。はい。すいません、挙手いただいてありがとうございます。挙手をされてない方で、何かご意見ございますか。

委員：はい。反対とかじゃなくって、事務局側で効率的な方法をとってもらえればいいかなと思ったので。はい。どちらでも私はOKです。

委員：すいません。事務局が一本化じゃなくてもOKというのであれば選択肢が多い方が、例えば自分だったら子どもが郵送なので、ついでに入れちゃえば早いので、アップロードとかはできるんですけども、手間が省けるかなと、そういう考えの方もいるのかなと思って、事務局にとっては手間なんですけども、事務局が一本化してくださいとおっしゃるのであれば、どちらかでいいと思うんですけども、どちらでもいいよというのであれば、一本化しなくてもいいのかなと思います。はい。以上です。

委員長：ありがとうございました。挙手をいただいて申し訳ないんですけども、

事務局へお返しさせていただきまして、事務局としてはいかがですか。やっぱり方法は郵送と電子という形でいいのではないのでしょうかというお考えで、よろしいでしょうか。それとも。はい。お願いいたします。

事務局：事務局です。できれば、今、両方の選択肢をお出しさせていただきましたが、できればどちらかをお願いしたいというのが一つと、電子だと一つだけ、どうかなと思う点が、先ほどのように、手書きのものを写真撮ってもらったりなんかしますので、こちらで印刷した時に映像が不鮮明になるときは、それをちょっと考える部分が出てきます。手書きで書いても郵送であればはっきりわかりますが、撮り方等によっては不鮮明になってしまうのを印刷しますので、出された方の意図が伝わらない場合にもあるかなというのが、一つだけ思います。

委員長：ありがとうございました。では、事務局からできればという言葉をお聞きいただきましたが、やっぱりこれは一本化でお願いしますということで、私はとらえさせていただきました。ということで、先ほど挙手をしていただきましたけれども、保護者も郵送一本化ということで、考えていければと思います。挙手をされなかった方で、いやちょっと待ってくださいというご意見がありましたらここで受け付けたいと思いますので、挙手をしてのお名前をおっしゃってからのご意見をお願いいたします。

委員：すいません。1点質問なんですけど、先ほど事務局の方から、郵送にする場合、手書きでということをお仰ってましたが、例えば保護者とかで出す場合、手書きではなく、印刷したものを貼り付けるような形でも、よろしいのでしょうか。それが可能なら、郵送でも問題ないかなと思っています。以上です。

事務局：はい。お手元資料の方、資料3を見ていただければと思うんですが、一番最後が保護者用になってますので、その前が児童の部分にもなってますので、児童さんがここに書いていただいて、保護者さんも書いていただ

くのも構いませんし、そちらの枠の中に、何か書いたものを貼り付けていただくのも構いませんし、応募用紙にまた別途、一緒に添付してもらって、出していただくっていうことも、それは可能です。

委員長：ありがとうございました。

委員：委員長ミュートになってます。

委員長：私おかしい。

委員：一瞬ミュートになってました。

委員長：事務局から回答いただきました。いかがでしたか。

委員：大丈夫です。それで、はい。はい。ありがとうございます。

委員長：事務局ありがとうございました。はい。それでは、保護者の提出なんですけれども、郵送という形で児童と同じ方法でということで、決定させていただければと思います。で、続いてなんですけれども、失礼いたしました。方法につきましては、以上になりまして、この後、校名案の候補の絞り込みということで移っていきたいと思います。先ほど事務局から、冒頭にありましたけれども今回、校名案公募資料2に移りまして、このような形で多くの公募をいただきました。で、ここからなんですけど、アンケートに移るにあたって絞り込みをいくつかにしていくかということになってまいります。先ほど、他校さんの事例を出していただきましたけれども、こちらにおいてはいくつが理想かということです。事務局が作っていただきました資料を参考ですと、5つという表示をしていただいていますけれども、これよりも絞り込みを少なくしていくのも、この後の協議になっていくかと思えますし、ちょっとどうなんだろうね、5個以上っていうのはちょっと多い、いかなものかなっていうところも含めて、進めてまいりたいと思います。ではまず、こちらなんですけども、校名案公募結果について、香取台というシンプルな名前が一番多かったんでしょうか。では、すいません。検討なんですけども、数をいくつに絞っていくかというところで、

何かご意見伺える方いらっしゃいますか。

委員：質問、一つよろしいですか。

委員長：はい。事務局への質問になりますでしょうか。

委員：事務局への質問です。

委員長：では、お願いいたします。

委員：他校で、このアンケートで何個って言ってた時に最初の小学校の校名数がよく聞き取れなかったもので、もう1回確認したいんですが。

事務局：はい、すみません。事務局です。申し訳ありませんでした。まず、過去の事例で、学園の森義務教育学校の場合は10点。みどりの学園義務教育学校は2点。現在、同時に行われている（仮称）研究学園小中学校は、先日10点で絞り込みを行いました。以上です。

委員：ありがとうございました。

委員長：なかなか多分時間だけが過ぎていく中で、どうなんでしょうかね。事務局が作っていただきました用紙を参考に、別紙にしますと5点という絞り込みから、できれば3、3つ、2つぐらいまでのものとして、考えていければいいのかなと思うことの一つに、アンケートを答えると同時に校章案を作るという、考えるという形になるんですよね。ここで多く設定すると。

委員：すみません。事務局に質問したいことがあるんですが、よろしいですか。

委員長：はい。どうぞ。

委員：はい。申し訳ありません。途中で割り込んでしまいました。他の学校さんが10点とか2点とかっていうことだったのですが、どのように絞り込んだのかを先にちょっとお聞きしたいなと思うんですね。例えば、今回のアンケートですと、もう44%が香取台ということで、かなりの、得票率になってますよね。ですので、他の学校さんでは10点に選んだとしたら上位の10点で絞り込んだのか、それとも良さそうなのを、何か委員さんが挙げていただいたのか。また、2点の場合は、なぜ2点だったのかというのをわか

る範囲で教えてください。よろしくお願いします。

事務局：事務局です。それでは、今までの3校の流れについてご説明いたします。学森につきましては、10点にしましたのは、当然、アンケートをやった結果、上位5点が多い部分がありまして、準備委員会の中で、教育局からも5点ほど何か出していただければということで出しました。ただその時には当然選んだのが、今回のアンケートで言えば、多い上位5点の中から選んだ形になりました。みどりのについては明らかにみどりのともう一つ、みどりの学園義務教育とか、学園がつかないとか、みどりの義務教育学校っていうのに多く分類されましたので、準備委員会の中で2つでいいですっていう話でいきました。今回、研究学園の方につきましては、全部この校名が決まった後に校章にいけますので、とりあえず10点という話になりました。それは同じように、今回、研究学園の方でも一番35%ほど、多かったのが研究学園という名前が一番多くありました。その次には、学園南とかいろいろ人数がありまして、3番目までは、本当に一番が飛び抜けて35%、150件ぐらい、残りは3つが10人弱、その下が、今回島名と同じように7人とか6人っていう形になっていきましたので、サイズを広げていってしまうと、1票差のところをどこまで選ぶかっていうことが難しかったので、当初10個ぐらい選ぶっていうことで7個まで選んだ上で、残り3つについては、1票とかそういうものを含めて、皆さんで選りすぐっていただいたような形で、研究学園が10点なります。ただ、今回一つ局の中で我々からご意見というわけではないんですが、考えていますのは、今回同時進行ですので、5個以上とか選ぶようになってしまうと、この同時に校章を選んでいただいていますので、おひとり一つのことだけ選ばれてしまうと、違うものになった場合にその案が消えてしまうので、他の案への数が減っていくっていうことが一つ懸念されるものと、今回見ていただきますと、香取台、島名第2、万博っていうところまでは結構な人数があり

まして、このあと万博から下については、8、7、6と1票の差しかありませんので、万博から熊野山までは4票の差が明らかにありましたが、それ以降は1票の差でしかないので、それを含めてどういうふうを選ぶのかってということがあるとは思いますが。1票の差で選ばれる、選ばれないのが何でってということが、後で皆さんに聞かれた時のことも含めるのかどうか、それでも、1票差で何番目まで選びますってことはいろいろあると思うので、ここを含めて今回は考えていただいた方がいいかなと思います。

委員：ありがとうございます。大変よくわかりました。

委員長：事務局ありがとうございます。今の事務局のご説明を踏まえまして、皆様、いかがでしょう。

委員：よろしいでしょうか。

委員長：はい。お願いいたします。

委員：はい。意見です。今の流れで説明をいただきまして、私の意見としては、まず上位3つをアンケートに含める。それ以外に、この準備委員会で、アンケートに入れるべきものが、入れたほうがよろしいかなと思うものがあれば、含めて、2点ほど含めて5点で、アンケートを実施する、という意見です。理由はですね、上位3つ、1つ突出してるんですけども、せっかくアンケートを実施したので、上位3つと数字だけで決めていいのかっていうこともあるので、上位3つプラスアルファで、この準備委員会の委員が、これも入れたらいいかなっていうものがあれば5つ、なければ3つ。という意見です。以上です。

委員長：ありがとうございます。それでは意見をいただきまして、こちらの意見をですね、ベースに考えて、皆さんでいければなと思うんですけども。多分、この絞り込みとても重要なのかなと正直思っております。やっぱり、この絞り込みについて、こういうことをこういう感じであるんじゃないですか。やっぱりご意見ありましたら、声出していただければと思います。

ますが。

副委員長：すいません。

委員長：はい。はい。お願いいたします。

副委員長：はい。話します。さきほどのご意見に付け足すわけじゃないですけど、意外とその子ども達が思ったよりもですね、あの1人とか2人の意見も多いんですけど、バリエーションに富んだ意見をすごく出してくださってるんで、その中から、ちょっと上の方の3つはですね、地名とか駅名に沿ったもので、その子ども達のその気持ちを反映するって意味で言うとすごくシンプルでいいんですけども、その中からちょっと、その思いを酌み取ったものを、我々の事務局で、事務局推薦じゃないですけど、みたいな形で入れるというのは、おっしゃるようないいのかなと思いましたが、ちょっとその選定の仕方、数が下の方はものすごく多いので、そこから2つ選ぶってなかなか難しいんですけども、せつかく子ども達が出してくれた案なので、そこから我々が思いを酌み取って、いくつか選ぶっていうのはいいのかなと思いました。以上です。

委員長：ありがとうございます。はい。では、続いてお願いいたします。

委員：はい。この公募の結果なんですけども、大体予想通り、香取台小学校っていうのがくるかなとは思ってて、大体予想通りでした。何故かっていうと、香取台地区に住んでる方がほとんどなので、例えば、香取台小学校っていう名前は何だか香取台だけの子が行く小学校みたいで嫌だなって、違う名前を絶対応募しようみたいな人もいたので、ちょっと香取台小学校って名前を付けた人は、香取台地区に住んでいる方が多く、あとは(仮称)香取台地区小学校とずっと言っていたので、香取台でいいんじゃないっていう思いが多く反映したのかなと思います。ただの感想です。以上です。

委員長：はい。すいません。感想ありがとうございます。ちょっと絞り込みに戻らせていただきまして、そうですね、他にちょっとご意見なかったらで

すね、ちょっと私の考えも、先ほどの委員の方々と同じなんですけれども、圧倒的に上位3つに関しましては、数字が大きいので、やはりここは多数いただいたものを取り入れていけたらいいのかなと、もう一つ、やはり校名案のときの、募集方法にも絡むんですけども、やっぱり思いなんですよね。先ほど副委員長からありました思い、一生懸命考えてくれて、いろんなやっぱりこの由来とかも見ると、すごく頷けるものもたくさんあります。その思いを、私たちも、やっぱりこう考えさせていただいて、やっぱり準備委員から、1つないし2つ挙げたらいいのかなと。でもやはりこれも線引きしなければいけない部分ではあるとは思いますが、やはりその数としては、やっぱり5つ、5個っていうのが、マックスの数なのかなっていう部分になります。まずこの上位3つに関して、アンケート1、2、3ということで持って行って、残り2つの部分が準備委員会の方から選んでいくという形でいかがですか、というところの今度のご意見をいただきたいと思えます。ここで、大多数の反対がなければ、絞込みはそのような形で進めていけたらいいのかなと思えますが、何かご意見ある方いらっしゃいますか。はい、では、お願いします。

委員：まず、アンケートの上位から3つ選ぶっていう、基本的には先ほどの案に賛成で、あと2つ、いいのがあれば、いいのはかつ我々が合意するようなものがあれば、追加するっていう考え方には賛成です。ただ、なかなか残りのやつを見た時、どれも、なかなか2つ選ぶのは大変かなあとあって、そこで合意に至らなければ、むしろ少ない数の方が校章を考えるには、多分、焦点が絞られますから、最終的にはそういう案もあるかなと思えます。以上です。

委員長：ありがとうございます。では続いて、お願いいたします。

委員：はい。上位3つプラス1個とか2個最大で5個っていうのは賛成なんですけど、この3つ目の万博っていうのが、なんか大阪にも万博ってあるん

で、ここは万博だけじゃなくて、つくば万博とかにしたほうがいかなかったと思います。以上です。

委員長：ありがとうございます。すいません、上位3つに関しまして、今、ありました万博については、いろんなところで万博やられている中でっていう部分はあるんですけども、上位2つに関していかがですかというところです。ただ、私やっぱりそうなんです、やっぱり香取台地区っていうところで香取台なんですけど。

委員：はい。

委員長：はい。お願いいたします。

委員：ごめんなさい、委員長話そうとしてるところに。

委員長：あのね、何かこうしんとしたから、何とか話さなきゃと思って。

委員：いえ、すいません、ちょっと話の腰を折らないような発言をしたいんですけども、事務局に質問です。これ香取台地区だから香取台小学校ってみんな書いてくれて、多分票数が多いんですけど、今この香取台とか諏訪とかって、まだ仮換地の状態であって正式な地名じゃないじゃないですか。で、実際に決まるのって多分、今後何らかの行政手続きが踏まれて決まるんでしょうけれども、この仮換地の地名が変わる可能性があるのかどうか。まあ、いやまだ正式じゃないんですけど、可能性がりますよって言われてしまうと、困ってしまうんですけども、すいません、そのあたりの感触というか考え方をお聞かせいただければと思います。

委員長：ありがとうございます。事務局、お願いできますでしょうか。

事務局：事務局です。住所の取り扱いは、市民窓口課が担当になるので、確定的なことは言えませんが、これまでの流れでいきますと、大体学園の森とか研究学園、みどりの、その他のところも、元々仮換地のときに、同じようにAの何街区とかBの何街区っていうものがありまして、本換地になった時には、街区が取れまして、そこが何丁目何番地というような形に変わ

って、地名がそのまま残ってるような形には今のところなっています。

委員長：はい。わかりましたありがとうございます。

委員：はい。

委員長：ありがとうございました。では、お願いいたします。

委員：意見として、私は1から3番まではすべて入れていいんじゃないかなと思います。元々、今作ろうとしてる小学校ができるという話が、10年近く前に一番初め案としてあがったと思うんですが、その際には島名小学校が、そちらに移るという話だったと思うんですね。で、以降、島名小が残るのか残らないのかも含めて、言い出すとこう島名第2も、じゃ第1消えたらどうするのという話も出てきちゃうと思うんで、それではなくもう票数で香取台から万博まではまず入れて、さらにつくば万博を入れるんだったら4番目として入れる、3番目までは入れていいんじゃないかなと思います。以上です。

委員長：ご意見ありがとうございます。他にございますか。手挙げられました。

委員：いえ、挙げていません。挙げてませんが、今の意見には賛成です。

委員長：今のご意見ということですね。

委員：はい。3つめまで入れて、他の2つのスロットにつくば万博を入れるかどうかというのはこれから検討ということで、に賛成です。

委員長：はい。わかりました。ありがとうございます。他の委員の方で、ご意見等、思いとか何かありますか。

委員：1点だけ言うと、つくば万博、確かに、大阪の万博と区別がつかないっていう話はあるんですけど、一方で万博記念公園駅というのも、日本には2つあって、大阪とここと2つあるので、そういう意味では、そんなに、重複を気にする必要はないのかなと思います。以上です。

委員長：ありがとうございます。

委員：すみません。

委員長：どなたでしょう。お願いいたします。

委員：基本的には、先ほどの意見に賛成で、上から3番目までは、そのまま入れていいんじゃないかと思うんですけど、残りその2つを選ぶってなったときに、例えば、固有名詞でないものなど結構入っていますので、最終的に学務課さんで決定されるときに、その校名の縛りから反れてしまうようなものは、もう最初から除いて、その中から選ぶっていうことの方が効率的かなと思います。以上です。

委員：ありがとうございます。上位3つはそのままアンケートに移していくべきでいいんじゃないかというご意見が、今、そこに対して賛成ですとご意見いただいております。その件にまず関して、上位3つそのままっていうことに関して、いかがですか、賛成、挙手。何かズームだと皆さんの表情が、お願いいたします。

委員：いえ、挙手って言われたので、賛成で手を挙げただけ。

委員長：失礼しました。はい。ごめんなさい。そうですね。はい。今から言います。上位3つ、そのままいいんじゃないですかという方、挙手をお願いいたします。はい。ありがとうございます。

委員：共有を切ると、みんな見えるんじゃないですか。

委員長：すいません、みんな挙げていただいている。私も挙げる、はい。リアクション見えてます。ありがとうございます。はい。皆さんありがとうございました。では上位3つは、そうですね、香取台、島名第2、万博ということ、3つ絞り込み。そして、そのあとですね、準備委員の方でっていう形ですけども、いかがですかね。ちょっと先ほど、万博っていうことで確かに大阪にも駅名とかであってなると、私的にはもう実は香取台も、千葉県柏市の近くにバス停があるんですよ。あんまり離れてない場所に、香取台っていう全く同じ漢字とともに、香取市ではなくって香取台という、あるんですよ。やっぱり、そんなこと言ったら多分、全国絶対同じもの

同じ部分はあると思うので、きりがなくなってくると思うところで、島名香取台って、1票かな、これ私ではないんですけども、載せていただいている方の思っているのが、何か島名との繋がりを、何ですかこれ、残しつつ、香取台という何かこの由来に、私がすごい大きく領けるものがあって、島名香取台っていうのを何か入れてもらえたらいいのかなあっているのはあるんですけども、ただ、これは私の感想で、何かズームだと、拍手は何にいただいているのでしょうか。

委員：はい。今の委員長の意見に島名っていうのは残したいなっていう、個人的な思いもあり、でも新しい香取台もあるので、島名香取台っていうのは、これを見ていいなと思いました。

委員長：その拍手ですね。ありがとうございます。はい。なんかこう頭抱えているのが、気になるんですけど、私なんかその笑みも気になりますんで、何かご意見出してください。

委員：いや、特に意見ではなくて、今ちょうど委員長の通信が切れかかったので気になりました。

委員長：そうなんですよね。

委員：すごく大事な委員のメッセージが届いていないんじゃないかってちょっと気になってました。

委員長：そうなんです。どうしたんでしょうか。でも届きました、ありがとうございました。思いとか、ご意見とか、委員会が終わった後にあげていただいたりするんですけども、やっぱり決定的な場ってここでしかないの、終わった後すごいこうあげてきていただいて、領けるんですけど何の返事もできないもどかしさがあるんですよ。なので、思いとかある時にはもうこの場で、本当に言い切っていただいた方がいいとは思っていますので。

委員：はい。私、このアンケート結果を見て、ちょっと衝撃を受けたというか、聞こえますか。

委員：聞こえてますよ。

委員：はい。ちょっといろんなね、名前、すごく素晴らしい名前がこんなにあがってきて、いろんな校名ってあるんだなって正直思ったんですよ。うちの娘に意見を求めたら、ママ、ここは島名地区でしょって言われちゃったんですよ。私、香取台に住んでるんで、てっきり香取台に傾くかなと思ったら、娘がいやここは島名地区だからって言い始めたんですよ。だからちょっと今、いろんな意見を見て、気持ちが島名に傾いてしまっている自分があります。以上です。

委員長：きっと、前回言われてましたもんね。ほとんど香取台で決まりじゃないですか。

委員：そうなんです。それが、結果を見たら、どうも私、この結果見て、気持ちがふらつき始めてます。

委員長：だから良かったです。準備委員に入ってください。そういうのって大事ですもんね。はい。いいですよ。もうちょっと出していただくことがすごく大事。

委員：そうですよね。例えば上位3つは票数が多かった3つにさせていただいて、残りの2つは、あれですか、私たちがその2つを決めるっていう感じですか。

委員長：そうですね、先ほど絶対2つっていうことではないということで、私は解釈、先ほど皆様のご意見からしてるんですけども、残り5つ以上だとやっぱりどうしても校章の案とか考える時にも非常に厳しくなるというものの中で、5つまでが限界かなという。なので、この3つでっていうことで最終的に皆さん同意していけるのであれば3つって言うといいと思うんですね。ただ今言ったように、そういった本当に一生懸命考えてこれだけの数あがってきてる中で、私たちの中、もうやっぱりこれだけの時間を費して準備委員やっておりますので、こういったものってい

うので選べるものがあるのであれば、入れていけたらいいんじゃないかっていう流れなので、絶対2個選ぶとか、そういう今かたちではないんです。はい。なので、3つは決定ということで、私は理解してるんですけどもそこは皆さんよろしかったですよ。3つ、上位3つはもうそうだなって。そこに、1個ないし2個をどうしていきべきかの今、お時間になっております。

委員：意見、よろしいですか。

委員長：意見ですね。はい。お願いいたします。

委員：先ほどの島名香取台っていう追加の案自身は私はいいと思うんですけど、島名との、万博とか香取台っていう提案もそれぞれいい一方で、島名との繋がりっていうのも、少し大切にしたいなというのはあって、その一つの候補として島名香取台っていうのはいいと思いますし、あと、島名第2っていう候補があるんだけど、ただちょっと、島名第2を、票が多いので入れること自身は私は反対ではないんですけど、ただ何か第2ってやっぱりちょっと安直かなあというか、何か2番手みたいで、だったら、島名南とか島名東っていう候補もあったし島名香取台っていうのもいいかなあとは思いますが。ただ島名南とか島名東は1票ずつしか入ってなかったみたいなので、かつ一本化しにくいっていうか、南なのか東なのかっていうので、一本化しにくいので、そういう意味で島名香取台の方が、より提案した時も票を得られやすいかなと思います。以上です。

委員長：ありがとうございました。ちょっと、そうですね。ごめんなさい。第1、第2、昔ね結構多くありましたね。第1、第3中学校、第4。でもねサンプルなんじゃないかな。多分ね。

委員：今のところ、上位3つプラスアルファっていうのに、反対はなさそうなので、まずそれでいきたいっていうのと、その残り2の決め方を今思案してるかなんかと思ってるんですけども、まず事務局に一つ質問で、こ

のアンケート結果からつくば市の条例等に引っかかり、これはアンケート結果として例え決まったとしても、条例等で認められないっていうのがあるのかどうか。あればもちろん、現時点で排除したいと思っております。なかなか本当に決まらないと思うんで、もう恨みっこなしで私的には、準備委員全員が、1つ推薦する。残り2つですね。この中から1つ推薦。もしくは、なし。どうでしょう。以上です。

委員長：そうすると、事務局に回答をお願いしたいです。その条例で、なんかこうはじかれるものがあるんですかという部分に関しての回答をお願いしますでしょうか。お願いいたします。

事務局：はい。事務局です。今のご質問上位3つについては、何かに引っかかるというようなことはあんまり考えにくいかなとは思いますが。ただし、これから2つ、もし追加で選ばれるっていうときに、今のこの結果の方見ていただいて、例えば、2ページにあります。A-50街区の一部っていうこういう住所がもう変わるようなことはどうかなと思えるのと、他に3ページの上から2つ目のコスモ星丸とか、4ページの一番最後ルフィとか、著作権に引っかかるような何かそういうものは難しいという部分が出てくるのかなという気はします。それ以外のものに関して、著作権とか何かに影響しないものであれば、特には引っかからないかなと思うんですが、一つだけちょっとあります。この今回皆さん、アンケートをやっていただいて、皆さんの中で決めていただくのが、最終的な候補案になりまして、この後としては、議会や教育委員会の流れを通して、学校名が正式に決まりますので、学務課が最終的に決めるわけではありませんが、そこだけご理解いただければと思います。

委員長：ありがとうございました。いかがですか。

委員：はい。ありがとうございました。はい。

委員長：副委員長大丈夫ですか。確かですか。では、上位3つといこうことで、

ちょっとこの辺で、先ほどありました残り2つなんですけども、もしちょっとすいません、勝手ながら、この島名香取台、どうしてもちょっと私の中では、アンケートに入れていただいて、なんかその今島名との繋がり、もしかしたらわかりません、やっぱり親として、なんかそういう心情が入ってしまうのかもしれないんですよ。なんか、そこまで島名と繋がり残したいなという思いがどうしても断ち切れずに、ちょっとありまして、実際ちょっと駄目ですよっていう反対あれば、もちろんですけども、そういったものがなければ、もしこのアンケートに島名香取台というものを、副委員長、まずいです。副委員長、その渋い表情は、言葉ではなくて表情での訴えですか、それ。

副委員長：ちょっとこれ言っていていいか迷ったんですけど、それ書いたの私ですて。

委員長：副委員長、言ってほしくなかったなあ。

副委員長：何か恥ずかしいなと思って。あとちょっと1点聞きたい事があって、万博っていう案は別にいいんですけど、この（ひらがな）が入ってる意味がちょっと何かあったのかなと思って、その漢字表記で平仮名表記の票を、集計して12ってなってるってことでしょうかっていう。これ、結構平仮名とか、漢字で全然何か、印象が違うんで、これ、こういう書き方で出すとどちらになるかわかりませんが、とにかく万博ってお名前に投票してくださいっていう形で、ということでしょうか。

委員長：カッコ書きのですね。

副委員長：そうですね。はい。ふりがなののか、これは表記が両方なのか。

事務局：児童の皆さんからお名前いただいた中で、やはり学年の小さいお子さん、平仮名でばんぱくと書かれている方がいて、それが半分の6票です。残り、漢字の6票が入っておいりましたので、合計で12票になっています。以上です。

副委員長：そうかなと思ったんで。はい。この集計結果、もし万博になった場合は、平仮名表記なのか漢字表記にするかはまた、別途、事務局協議になるのか、なんかそんな感じになっちゃうんですかね。ちょっとそこが、こういう書き方しとくと、なんかそこが難しいなと思いました。はい。

委員長：そうですね。ある意味重要な、その部分ではありますよね。やっぱりイメージが違ってくる部分もあると思いますんで。事務局お願いいたします。

事務局：はい、事務局です。一つだけちょっと引っかかる点があります。っていうのは、小さいお子さんが書いた時は漢字を知らなかったら、平仮名しか書けないので、漢字を知ってれば漢字を書いたっていう可能性もこれが出てくるので、そこはちょっと何とも言えない、どちらかを選ぶってことが我々もちょっと難しい部分が、そこは非常にあります。

副委員長：なるほど。

委員：はい。意見ですけど。よろしいですか。

委員長：はい。事務局ありがとうございました。副委員長大丈夫ですか。

副委員長：はい。私は大丈夫です。

委員長：ありがとうございます。では、お願いいたします。

委員：もう万博については我々でもう、漢字表記だけを記述して、書いてもいいんじゃないかなと思いますけど、それで、ただ小学一年生が読めないんだとすると、それはあくまで上に読みがなという形ではんぱくって書いて、案として出すっていうのでいいんじゃないかなと思いました。

委員長：はい。ありがとうございました。事務局にお聞きしたいんですけどもこれ、今のご意見なんですけど、これは漢字表記を主で決めていくっていうのはありなんですか。すいません、お願いします。

事務局：はい。漢字表記でっていうことであれば、それは大丈夫だと思います。今、ふりがなっていうことでしたので、この場合、今上位3つについてもふりがなをつけてやったほうがいいのかという考えを一応しました。

委員長：はい。ありがとうございました。そうですね、上位3つすべて漢字なんですけども、この3つ、万博だけがふりがなではなくて3つともそれぞれに、ふりがなをふってということで、事務局からいただきました。これに関してはいかがですか。よろしいですか。はい、頷いていただいてありがとうございます。そのような形で、上位3つでふりがなという形で統一していければと思います。はい、副委員長そうですね。先ほどすいません、ちょっと告白されてしまったので、私もちょっと島名香取台をこのあとどのように、入れてくださいって、こう伝えていいのかが、言いづらくなってきました。もし、出していただいたご本人も何かそこら中かゆくなってしまったみたいで、何か見えてきたんですが、島名香取台を入れて、入れることは反対ですっていう方いらっしゃると思います。言いづらいですよ。はい、ではお願いいたします。

委員：島名香取台、副委員長が提案されたってことなんですけど、私も島名香取台は結構いいかなと思って、重要な候補として考えました。最終的に選ばなかったんですけど、島名香取台を誰かが出すだろうなと思って、出さなかっただけで、1票になると思っていませんでしたけど、なので私はいい候補なのではないかなと思います。

委員長：さんありがとうございます。副委員長。

副委員長：すいません。はい。私も別に特別な名前を出したつもりはないので、もっと出てくると書いて書いたら、1人しかなくて、逆にびっくりしたんですけど、なんかもっと一番あり得そうなパターンかなと思ったのと、前回、委員長の言葉を聞いて、私もこの地元の人間じゃないんですけど、そういう過去から未来へつなぐっていう気持ちが大事だなと思ったんで、それを考えたときに、いいかなと思って、ご提案した次第なので、そこに皆さんが同意いただけるようでしたら、候補に入れていただけたら幸いです。はい、以上です。

委員長：ありがとうございます。ごめんなさい、ご自身が考えられたことで、まさかここで説明することが起きるなんて思ってなかったと思うんですけども。

委員：すいません。上位3つの香取台、島名第2、万博、つくば万博を入れるか入れないかはちょっと置いといて、島名香取台に候補絞ったときに、どれ選んで校章まで案を考えたとしても、部分的に案として、いいところが取れるんじゃないかなあとって。校章のデザインなんですけど。なのでその4つは、4つなり5つなりは入れてもいいんじゃないかなと思いました。校章案のことまで考えて、以上です。

委員長：賛成派のご意見だったんです。ありがとうございます。お願いします。

委員：さっきおっしゃってたみたいに、ここから5つ目をじゃあ何にするかって、また時間がかかってしまうと思うので、1人1票入れる入れないも含めて、付け加えるとしたらどれがいいですよっていうのを各委員が出して、もう恨みっこなしでっていう話でしたけど、それで決めたらいいんじゃないですか。

委員長：把握してみます。もちろんいいです。皆さんの中で、あるのであれば、上位3つですよ。今、私から島名香取台ということでもいいんじゃないですかっていうご意見いただいていて、もし入れていただけるのであれば4つ。ただ、他に、これ絶対もっと理由あるので入れてくださいというものが、だからなければ無理に5つ作ることはないと思っていますので、このまま4つで切っていただく、そうですね。あるのであれば出していただいとということ。お願いいたします。

委員：はい。すいません。あるなしも含めて、全員に聞いていただけたらなと思うんですよ。今も案出てるんで、委員長は島名香取台っていうのもあって、それに賛同する意見もあったんで、それはもう、それも意見じゃないですか。なんで、全員に順番で聞いて、あるなしでどうでしょうか。

委員長：いいですよ。ではお願いいたします。

委員：すみません。すみません。はい。私はですね、ちょっとごめんなさい。考える時間をください。

委員：すみません。途中でいいですか。

委員長：お願いいたします。

委員：すみません。えっとですね、今3つ決まってあと2つで、とてもいい案が、候補が1つ出ましたよね。なので、チャットに2つそれぞれ書けばわかると思うので。やっぱり時間短縮のために、先ほどの候補も含めて2つ選んで書く、その中で、上位でいいんじゃないですか。もう大分話してきたので、いかがでしょうか。チャットを活用しては、という考えです。

委員長：チャットを活用してというご意見がありましたけれども、チャットに皆さんお書きになりますか。ない方はなしでいいと思います。はい。島名香取台入れていただいているんですよ。今4つってことです。5つ目が、これまでにでてない4つ以外であるかどうかというところで、ちょっとまだご意見出てない方、出していただければと思います。ちょっとここ時間取りますか。それとも進めながら、チャットですと入力できますので、進めさせてもらっても。でも、みんな今でもあれですね、書いていただいているのでちょっと待ちますね。副委員長、集計お願いいたします。委員集計できましたか。委員プロじゃないですか。私は委員と副委員長に集計お願いしたので、多分、もう数秒で。

委員：はい。今のところ出てる感じだと、つくば万博と島名香取台が上位ですね。それで、島名香取台が8。つくば万博が3ですかね、4か。ごめんなさい。ということで大丈夫ですか。

委員長：お仕事が早い、ありがとうございました。はい。わかりました。集計をいただきまして、このような形になりましたが、集計間違えるととんでもないことになりますので、誤りじゃないかとか、皆さんの目で確認をいた

だき、やはり数字で見ていくのが一番平等なのかなと思います。いろんな思いがあるんですけども、やっぱり、はい、どこかで引かなければいけませんので、はい。では、発表してください。

委員：はい。つくば万博と島名香取台です。

委員長：はい。ありがとうございます。上位3つに加えまして、残り2つ、島名香取台とつくば万博ということで、アンケートに2つ入れまして合計5個選定ということでしたらと思います。よろしいでしょうか。すみません、皆さんいろんなもの挙げていただいて、本当にこの思いは準備委員の気持ちにずっととどまることと思います。はい、それではですね、アンケートの方なんですけども選定の方、5つということで、進めていければと思います。はい、ここまでなんですけれども次回の公募に繋がるアンケートまでいきまして、事務局にすみません、5つ決めました。この件について何かございますでしょうか。

事務局：はい、事務局です。5つということでそのまま、アンケートやるということで我々特に問題はありません。

委員長：ありがとうございます。はい。それでは今絞り込みが終わりまして、この後なんですけども、校章案のデザイン化ということで、校章案に関しましては、アンケートの方に以前言いました、もし、保護者から何か私こういったことができますという方がいれば、そういった方優先にチェックをしていただいて、その方優先にお願いできればということで、考えているんですけども、今校章案デザインについてに移りました。その件について、何かもしですね仮に、いない場合には、委員のお父様、ご両親のちょっとお願いのスタンバイを考えといていただければというお願いを改めてしなければいけないときが、もしかしたら来るのかなという部分なんですけども、保護者からそういった方が一番あがればというところです。ここに関しては、皆さんも同じご意見でよろしいでしょうか。ちなみにこの中には

いらっしゃらないですか。ご自身がつて、私、実はデザインっていう、いかがですか。見たくなかった、もう常に頷いて欲しい。ではデザイン化については、このアンケートで、保護者の方から、チェックですね、ご協力いただける方、入ってることをちょっと待たせていただくということで、事務局すいません、以上になりまして、デザイン化というところまで、話が進みました。このあと他に何かございますでしょうかお願いいたします。

事務局：すいません。事務局の工藤と申します。校章案のデザインの募集について、細かくなんですけれども、ちょっと確認していただきたい点がありまして、今回、事前の資料では、お配りしておりませんので、今、この画面共有でご覧いただきたい資料があります。こちらになります。校章案のデザイン募集についてということで、前回の会議の時に、委員の皆様から募集をかけた後の募集のデザインをどのように生かして依頼するかって言うところのご意見が、皆さん多分考え方が色々おありなような形でしたので、そこについて準備委員会の皆様方の認識を一つにさせていただいた上で、実際に制作する方に依頼をしていただいた方がいいかなと思ひまして、今回このような資料を作成させていただきました。まず校章案に関しましては、前回の会議で募集をかけると、公募をかけるということで、皆さん一致したと思ひますが、こちらは変わらない形でよろしいですかね。そうしましたらまず、制作方法、こちらは準備委員会の方から依頼する方法ですね、どういった形で依頼をお願いするか、こちら3パターンをご用意させていただきました。この3パターンどれにも共通するのは、制作していただく方については、デザイナーの方、一般でやっていただける方がいるか、あとは、もしなかった場合は教育局の関係者。これは、この3つのパターンすべてに共通して、制作者は2パターンあります。まず、①の制作方法なんですけど、応募されたデザインから準備委員会の皆様方で数点に絞り込んだものに、本当に微細な補正をかけるのみ、こちらに関しては、それぞれ

のパターンでもメリットデメリットも記載させていただいております。この①のパターンのメリットとしましては、出されたデザインそのままを生かすこととなりますので、ほぼ本当に微細な補正のみとなりますので、完成に要する時間は比較的短くなるのではないかなと考えております。

委員：事務局の方、すいません。チャットにメッセージ入ってまして、ちょっと拡大をしてもらえたら助かります。

事務局：はい。すみません。これぐらいで大丈夫ですか。見えますかね。大丈夫そうですか。はい。ありがとうございます。失礼いたしました。そうしましたら、メリットになるんですけれども校章案のアンケートの開始まで時間を短縮できるのではないかなと考えております。またですね、出された方のデザインがほぼ反映される形になりますので、応募された方自身も自分が応募したものだということの認識ができるということがメリットとして考えられるかなと思います。デメリットとしましては、校名案のアンケートと同時に、校章のデザインを募集する形になりますので、その応募する方が選択した校名案に対して、デザインをおそらく描いてくるという形になるかと思っておりますので、もしその応募した方の選択した校名案が、準備委員会で最終的に選ばれなかった場合は、そのデザインは除外されるような形になりますので、最終的に選定された校名案に対するデザインがもしかすると少なくなるという場合も考えられるというところがデメリットとして考えております。②のパターンですね、応募されたデザインから、すべてのデザインから適宜パーツを切り取って組み合わせて作成する。こちらに関してはメリットとしましては、応募した多くの方のデザイン、いろいろな思いや意図を持って皆さん描いてきていただいておりますので、そういったものが部分的ではあるんですが、反映されてくるというところがメリットかなと、デメリットとしましては、すべてのデザインから使用するパーツを制作する方が検討しますので、結構な時間をもしかすると要する、完成

までに要するのではないかなと考えております。③のパターンについては、①と②のパターンでどちらのパターンでも作っていただくというような形になります。こちらのメリットとしては、校章案として上あがってくる数が①②だけに比べると、多くあがってくる可能性はあるかなと思います。それ以外に、メリットとして①と②のそれぞれのメリット、デメリットに関しても、①と②のデメリットというところが考えられるかなと思います。事務局としてはこういった形で校章案のデザイン募集については、依頼するところについては、ある程度、委員の皆様の中で、共通の認識を持っていただいた上で、依頼をさせていただく形がいいかなと思っております。以上です。

委員長：ありがとうございました。では、校章案デザイン募集についてということで、事務局からより細かく、このような形でまとめていただきました。この件に関して皆さんから何かご質問とか、伺えますか。

委員：すいません。質問させてください。

委員長：はい。どうぞ。

委員：はい。事務局に質問したいんですが、それぞれのメリットデメリットよくわかりましたが、前例があれば教えてください。お願いします。

委員長：事務局、お願いできますでしょうか。

事務局：はい、事務局です。学園の森とみどりのにつきましては、やったパターンが、募集するこのパターンになりますと②になります。学森は、2番になりまして、みどりのにつきましては同じ②なんですけども、そこの制作者が違います。みどりのにつきましては教育局関係者のみ、学園の森はデザイナーの方、一般の保護者の方のデザイン熟知した方と、教育局関係者の、2人からデザインを出しました。その中で、2番の通りパーツを全部取りまして、それぞれが3点ほど作成をした上で、アンケートをかけたっというのが、これまででございます。

委員長：はい、ありがとうございます。では、事例を踏まえまして、この部分なんですけども、私も個人的には2番がいいのかなと思いますが、制作者は先ほど言いましたように保護者からもしいれば、デザイナーとしてという部分を考えて、パーツパーツ、あといっぱい関わってくれた人たちが一つになって、校章ができるっていうのが、思ったりはするんですけども、皆さんいかがでしょうか。

副委員長：すいません。話します。2番の場合はこれは、ちょっと制作者の方のやり方もあると思うんですけども、もう、集まった書類をすべてお渡しして、それこそ今回の200とか、アンケート集まったと思うんですけど、200枚の紙を、デザイナーさんにすべてお渡しして、そこからパーツも選んで自由にやってくださいみたいな形で、お渡しするのか、上ではデザイン候補選ぶってなってますけど、このパーツ候補も選んでやっていくのかっていう方法も、あるのかなと思うんですけど、それは他の学校でこういった形、すべてお渡しした形だったんでしょうか。

委員長：はい。お願いいたします。

事務局：はい、事務局です。前回につきましては、みどりの、学森両方ともすべてのデザイン、あがってきた資料を全部お渡ししております。

副委員長：はい。ありがとうございます。それでもできたってことで、可能だったことですね。よくわかりました、ありがとうございます。

事務局：一つだけよろしいでしょうか。

委員長：はい。お願いいたします。

事務局：事務局で、一つだけ危惧するのは、何点かに絞った場合には、お願いする作品が3つ、4つお願いしたときには、部品数が少ない場合がちょっと心配はします。あがってきたもの全部お渡しした場合には、3つ4つお願いしたときには、ある程度、デザイン的な部分には影響してくるのかなと、やりやすいかなっていう気はします。

副委員長：たくさんのパーツを渡した方が、デザイナーさんもたくさんのバリエーションをつくれるんじゃないかということですね。

事務局：事務局です。その通りです。

副委員長：はい、すいません。ありがとうございました。

委員長：他にございますか。そうなんですよね。だからデザイン案をやっぱり多くあがってこないと厳しくはなりますよね。

委員：よろしいですか。

委員長：お願いいたします。

委員：基本は、②でいいと思うんですけど、一方でデザインの中では完成度が高いものもあるでしょうから、そういったものも含めて見るっていうので、3の2に寄ったようなアプローチっていうのもあるのかなと思うんですけど、これ完成度が高いものがあれば、これをかなりの部分使う、そのまま使うっていうのも許容しつつ、②で考えるをベースとして考えるっていうアプローチがあるんじゃないかなと思います。

委員長：ありがとうございます。ありがとうございます。すいません、事務局にお聞きいたします。今ありました、3寄りの2っていう、完成度の高いものがあれば、そこも踏まえてっていう3寄りの2というものがあがったんですけども、それももちろん、もうデザイナーさんをお願いするときに、その辺を踏まえてお願いすることはできるということですか。完成度の高いものを優先としてのパーツパーツで組み合わせていきましょう。はい。事務局お願いいたします。

事務局：一つだけ確認なんですけど、制作者は、教育局関係者はなしでよろしいっていう、今までの話になるのかなと思いますので、デザイナーさんは、委員の皆さんのお知り合いの方になりますので、委員さんからお伝えしていただく部分があると思います。今の話で、3寄りの2っていうことになりますので、例えば今の中では、3で決めて考えといていただいて実際あ

がってきたものを皆さんで一度見ていただいた上で、いいものがあったので、それはその加筆を付け加えていただくか修正をしていただく、プラスその選んでもらったデザインの部分も含めて全部お渡しするっていう、あがってきた後で決めるっていうことも考えられるかなとは思いますが。

委員長：はい。ありがとうございました。ほかいかがですか。

副委員長：すいません。1点ちょっと意見というか、いいですか。今回、保護者の方に、そういうデザイナー、デザインができる方はチェックを入れてくださいっていう項目があると思うんですけど、そのチェック入った方が出してきた時に、その方のデザインっていうのは、どういうふうにしてその方に依頼していくのかっていうのが、そのデザインはその方が書いたもの1個あるわけで、その他も含めて、もう少しデザイン描いてくださいっていう依頼の仕方になっちゃうと思うんですけど、何か、その方からすると、自分の書いたデザインもあるしなっていうので、何か、頼み方がちょっと難しいなってちょっと思ったんですけど。他の学校の場合だと、デザイナーさんはその保護者からも、何か一般の方からっていうパターンがあったかと思うんですけど、そのご自身で描いたデザインも含めて何か描かれたみたいなそういうこともあったんでしょうか。

委員長：はい。事務局お願いできますか。

事務局：はい。事務局です。学森の時には、そのデザイン協力してくれた方は、お子さんのデザインだけで、ご自身のデザインはあまり、こういうもの書いてますっていうものがありまして、その方には、部品を全部お渡ししてここから作っていただけませんかということでお願いいたしました。

副委員長：わかりました。それはでも、そもそもどなたかを応募してくるかもわからないんで。それを見てまた次の会議でそこは、我々の話し合っただけで考えるって形ですかね。ちょっといろいろ想定してもきりがありませんから。はい。ありがとうございました。

委員長：ありがとうございます。これあれですね、ここで、事務局すいません、この3つからもう、私たち今ここで決めていくということよろしいんですかね。

事務局：事務局です。はい。我々が、一番ちょっと心配した点につきましては、今回、資料3の2ページ目を見ていただければと思うんですね。そこの注意事項の(2)校章案デザイン公募ってところの黒点2つ目の部分で、実際、募集のやり方の1、2、3のうち2と3で大体同じなんですけど、実際やるのは2と3番ということになると、この文章も黒点のところでも本人さんたちが理解してもらった部分を明記しておくかどうかということが、募集については、用紙についてちょっとそこだけ気になったものですから、この黒点で我々今回、後で決める時にも、部品だけ取るってことが理解をしていただけるってことであれば、この文書でいけると思うんですけども、出す人たちが自分のがそのまま通ると、そのまま採用されると思ってた時に、この黒点の文章がその後、そうではないと意味合いにとっただけのことかどうか、それを含めた文章を最初に書いておくかどうかということだけちょっと心配はしました。

委員長：はい。ありがとうございます。ではすいません、皆さん、資料3の2ページというところで、この、注意事項のところなんですけども、制作方法2と3従い、例えば誤解というか、そのままではないよっていうその明記をちゃんとしたほうがいいかということなんですけれども。これあれですね、先ほど言ったようにチャットで、このまず制作方法について1から3、ごめんなさい、先ほどご意見とかいただいたんですけども、選んでいただく形の方が、多分皆さん目で見ても、全員回答いただけるというのは一番いいんでしょうかね。

委員：意見よろしいですか。

委員長：お願いします。はい。

委員：まず、今画面で共有されている、制作方法1から3の話なんですけれども、これはここで決めなくてもいいのかなと思いました。次回、第4回の時に、我々としてはデザイナーさんへの依頼の仕方としてこのパターンがあるので、このパターンをとりあえず頭の中に入れておきながら、次回臨みましょうということで、もしよろしければ、今回決めなくてもいいという判断があるかと思います。それが可能かどうか確認したいと思いました。これは事務局に聞いたほうがいいですかね。

委員長：そうですね。事務局からの回答。お願いしたいと思います。事務局すいません、スケジュール的にというか、進めるにあたって、今委員からの意見がありました。いかがでしょうか。次回の時に、この制作方法を決めるということも、あるのではないかということに関して。

事務局：すいません、事務局です。

委員長：はい。お願いします。

事務局：申し訳ありません。それではですね、校名のアンケートと一緒に校章案のデザイン募集を行う際の注意事項の書き方については、今しがたご説明しました制作方法1から3、いずれに対しても対応できるような文章にさせていただいてアンケートをまずは行いたいと思います。次回、2月18日を予定していると聞いているんですが、それまでに委員の皆様それぞれちょっとご検討いただきまして、次回実際、デザイナーさんにどういうふうに、頼むかを決定、協議していただければと考えます。以上です。

委員長：はい。ありがとうございます。ありがとうございました。いかがですか。

委員：はい。事務局の方ありがとうございました。次回のタイミングであれば、ある程度、たくさんのデザイン案があがってくると思うんですけれども、それを見ながら判断できるので、次回に持ち越していいかなと思っての確認でした。ありがとうございます。

委員長：はい。ありがとうございます。ちょっと、事務局にすいません、こちらの校章案デザインは、見せていただいているこの資料に関してはいただくことって可能なんですか。それともこの場で、見る資料にとどまるという形でしょうか。

事務局：すいません、今お示ししてるものについては、後程メールで送らせていただきます。

委員長：はい。ありがとうございます。では、ご対応のほどよろしく願いいたします。みなさんなんですけども、今の委員からの案でもありました、これ次回までにということで、ちょっとこの後、事務局からこちらの資料、送信されますので、ご覧いただきながら、次回にですね、この考えをまとめといていただければとお願いしたいところであります。では、事務局確認なんですけども。

副委員長：委員長、さっき事務局の方が心配されてた。

委員長：名前をおっしゃっていただいていた方がいいですか。

副委員長：ごめんなさい。すいません。事務局の方が心配されてた文章の中に、一部利用になる可能性があるっていう文章を入れた方がいいかどうかっていうのを揉んだ方がいいかと思ってましたが、いかがですか。

委員：今事務局の方が①から③に、のどれにも対応できるような記述に置き換えまうと言われたと思うんですけど。

委員長：私もうすいません、今同じこと確認済みなんですけど、副委員長はこの委員会にいらっしゃいましたか。

副委員長：ちょっとね飛んでた飛んでた。コスモ星丸になってたよ。

委員：副委員長、書記やってくださってたんで、多分追いついていけなかったのかと思いました。

委員長：はい。ありがとうございます。フォローありがとうございます。副委員長、ありがとうございます。事務局からですね、どれにも対応できるよう

なことで対応いただけるというお言葉いただいております。他にありますか。事務局お願いいたします。

事務局：事務局です。よろしいでしょうか。

委員長：はい。お願いします。

事務局：はい。次回で、1から3までで決めていただくということと、配付文書については、どれにも対応できる文書でこちらでは考えて出そうかと思いますが、1点だけ確認があります。先ほど画面共有させていただいた中での制作者の部分、デザイナーと教育局関係者と書かせていただきましたが、教育局関係者の準備をすることが今のところやはり必要なのか、大丈夫ですよ、デザイナーさん、皆さん先ほどのように、お知り合いの方で見つめますので大丈夫ですよってということなのかそこをちょっと確認したいなと思います。

委員長：はい。それでは事務局からあがりました確認というところで、このデザイナーさんのところなんですけども、保護者からのチェック問わず、これは我々、だから関係者とか、保護者、関係者の中で、チェックがなかった場合でも、どなたかにお願いできる方がいるのかっていうところだと思います。その辺のところを皆さんいかがでしょうか。

委員：よろしいですか。

委員長：お願いします。

委員：現状では、確固たる当てがあるわけではないので、バックアップになっちゃうのかもしれませんが、教育局関係者にもちゃんとお願いして確保しておいた方が、特にスケジュール的なリスクが今相当あるので、必要ではないかと私は思います。その関係者、教育局の方々には申し訳ないですけど、以上です。

委員長：はい。ありがとうございます。お願いします。

委員：はい。私も同意見で、ただ、バックアップとしてとではなく、両者からデ

デザインを作っただけであればその方がいいのかなと思うのは、今回、先ほどの校名案で、上位になったものよりもやっぱり下に出てきた方が良かったかもってという話が、先ほども出たので、そのデザイナーの方で、もちろん保護者の方で、できればいいとは思いますが、両方ともから出していたら、その方が、もしかしたらより良いものという、かやっぱりこっちの方が良かったっていうのも出てくるんじゃないかなと思いました。以上です。

委員長：はい、ありがとうございました。事務局、すいません、確認なんですけれども、今、ありました、両者どちらもこういうの案で進めていくことでも、問題はないのでしょうか。お願いいたします。

事務局：はい、事務局です。両者で進めていただいた上で例えばアンケートを取った後に、デザイナーが見つかったので、そちらのデザイナーだけでやりますっていうことでもそれは構いませんが、我々としては、教育局関係者をお願いするよってことになった時に、突然お願いするわけには今度いなくなってしまうので、なるべく早めにお話しとこうかなと。その時、その上で、デザイナーさんをお願いすることになったってことになれば我々の方に、見つかりましたんで今回は大丈夫でしたってお話しすることは可能ですが、突然のお話は、頼まれる方も大変かと思うので、準備構えをしてもらうことを考えると、先にちょっとお話をしたいと思いましたが、そこでお伺いできればと思いました。

委員長：ありがとうございます。そうですね、おっしゃる通りですね。今、ありました、両者へっていう形を取って考えていけばっていうのがいいのかなと思います。皆様のご意見ということで、そうですね、この両者っていうのを、まず第1として考えていきたいと思うんですけれども、ご意見ございますか。それで、先ほど事務局から回答いただきました形で、最初に、教育局の方にもお願いしといていただいて、デザイナーさんが見つか

りましたのでっていう流れで、よろしいですよという方、挙手をお願いいたします。はい。ありがとうございます。では皆さん、事務局なんですけども、両者同時にちょっとお願いできればと考えていければと思いますので、そのような方向でよろしいでしょうか。

事務局：はい、わかりました。こちらの方では美術の先生に、ちょっとお願いしてみようかなと思います。ただ、一つだけ、ただ前回お話をさせていただいた通り、このアンケートを取ったときに、やりますっていう方が、例えば2人、3人いらっしゃるようであれば、教育局関係者にお願いすることはしなくてもいいのかなと。1人しかいなかった場合は、教育局関係者も入れていただいてやるということもだと思いますが、我々は最後、やはり保険かなっていう言い方が変ですけども、残しといてっていう形で、考えておりますのでよろしく申し上げます。

委員長：はい。ありがとうございました。皆さん、よろしいでしょうか。事務局からいただいた言葉で、ありがとうございます。ではそのような形で、はい、考えていければと思いますので、事務局ですね、この場であると、何か決定すべき事項ということで、他にございますでしょうか。お願いいたします。

事務局：はい、すみません。それでは次回の、第4回の委員会の日程の確認をお願いしたいと思いますが、こちらでは2月18日金曜日のご都合でということで伺っていますがいかがでしょうか。

委員長：はい。ありがとうございます。それでは第4回の準備委員会の開催日なんですけれども、今事務局からありました2月18日金曜日ということで、予定したいと思います。多分、開催方法は、ちょっとこの後で、状況を見てということでよろしいでしょうか。はい。時間だけは決めといていただく形でよろしいでしょうか。日にちは18日ということで、皆さんご都合調整お願いできればと思います。そして時間なんですけれども、第2回、

第3回とやっております18時30分、今日と同じで問題ないのでしょうか。大丈夫ですか。すいません、事務局、18時30分ということで、第4回の時間の方は、お願いできればと思います。はい。

副委員長：委員長、すいません。ちょっと、次回会議に向かってちょっと一点、事務局に確認したいんですけど、次回会議は校章案のデザイン案のイラストっていうかね、が、お手元にそろってると思うんですけど、そのオンラインがリアルかわからないんですけど、200枚ぐらいの案を、どういう形で、私たちはすべて見れる環境に何かを作っていて、みたいな状況に、オンラインだったらPDFみたいなものを、何かどっかに置いていただくか、送っていただくみたいな形になるのか、リアルだったら、ちょっと200枚のものを、なんか両面刷りでもすごいことになったりするんでそれを我々全員に準備すると、紙がとてつもないんですけど、なんか、どういう環境でそれを見ながらやるのかなって、ちょっとイメージがあれだったんで、手元に200枚用意されても、正直200枚見るのも大変なんで、それを紙で用意していただくすごい労力なんじゃないかなって、どういうご準備をするされる想定かちょっと、事前に確認したかったんですけど。

委員長：はい、ありがとうございます。すいません、事務局。数がどのくらいになるかは、ちょっとあがってきてからになるんですけども、あがってきた校章案について、どのような形で私たちに示しただけなのかということでもあります。回答のほうをお願いしますでしょうか。

事務局：事務局です。今の確かにお話いただきましたので、ただ現物のもののデザイン性っていうものが、多分色の具合とかいろんなことがありまして、ただ、数が多かった場合には、全部だと枚数も増えてしまったりしますので、その場合には、現実の画像の本人さんの、絵の色の具合が、なるべく落ちないことを考えながら、例えばPDFにするのか、それとも全部縮小、1枚に何点かを縮小したのをカラー化したコピー用紙をお配りするか、そ

れをPDFでお送りするかは、ちょっとあがってきたものを見て、こちらで検討させていただいて、皆さんにわかりやすい方法をちょっと考えていこうかと思えます。

副委員長：ありがとうございます。すいません、ちょっと余計なこと言ってしまったかもしれませんが。ありがとうございます。よろしく願います。

委員長：ありがとうございます。事務局回答ありがとうございます。最後に何か皆さんからご質問、ご意見、何かございますか。

委員：すいません。

委員長：はい。願います。

委員：すいません。今日の資料1で、第5回委員会が仮だと、案だと思うんですけど、水曜日ってなってるんですけども、金曜日以外でも開催されることは、ありますか。はい。以上です。

委員長：はい。ありがとうございます。これスケジュールに立てた時の案っていう形だと思うんですけども、これはたぶん、絶対的なものではない中でアンケート化する調整ということがここに入ってくるのが妥当かなという、事務局の案だと思います。たぶん、この辺の前後というのがあるのかなと思うんですが、ただ、やっぱりこのスケジュールを追って見いきますと、金曜日以外の水曜日、16日もありえるのかなと解釈はしてるんですが、事務局、このスケジュールに関してはいかがでしょうか。

事務局：事務局です。すみません。今回の水曜日に関しては、あくまでも案ですので、もちろんこちらの委員会、金曜日をご希望されていることは重々承知しておりますので、できるだけ金曜日に開催できるように調整して参りたいと思います。以上です。

委員長：はい。ありがとうございます。そうですよね。あくまでも案で、この日にしますっていうのが、委員にもどうしますかっていう形でいつも言っ

ていただけるので、ちょっとたくさんいろんなスケジュール調整とかもね、難しい中でのご質問だと思います。一応、今のところは暫定的ということでとらえておいて、私たちの希望の方は伝えておりますので、今後、ほぼ調整できるということになろうかなと思います。ただ、これはちょっと第4回の時に、正式に決まって決めていくかなと思いますので、はい、他にございますか。

事務局：ごめんなさい、事務局からです。

委員長：資料でしょうか。はい、お返しいたします。

事務局：ちょっと見えるかわからないんですけども。学園の森の時のデザインをちょっとお見せいたします。一番上のこの黒いものが、当初、その協力していただデザイナーさんが書いてきたデザインになります。で、この下に、子どもたちが書いてきたものとかのデザインがいっぱいあります。このような形で、デザインを読み込んだりした1枚に作ったものがありますので、このような形で皆さんに紙かPDFか何かでお送りできればなあとはい思います。イメージ的にはこんな感じですけど、ちょっと見にくいかもしれませんが、よろしいですか。

委員長：ありがとうございます。皆さん領いていただいている姿が拝見できますので、副委員長は大丈夫でしょうか。今のよう形で対応いただく、はい、ありがとうございます。今ちょっとお答えをありがとうございます。他に何かございますでしょうか。ではここで、事務局の方にお返しさせていただきたいと思います。お願いいたします。

事務局：はい、事務局です。本日は長時間のご審議、大変ありがとうございました。次回につきましては、2月18日金曜日、18時30分からということで、開催方法につきましてはご調整させていただいて、その後また決定しましたら、ご連絡をさせていただきたいと思いますので、よろしく願いをいたします。では、本日第3回の開校準備委員会はこれにて終了とさせていただきます。

ただきます。皆様ありがとうございました。

4 閉会